

経営比較分析表

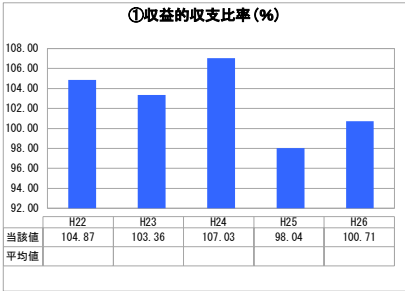
福島県 平田村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	31.78	100.00	4,320

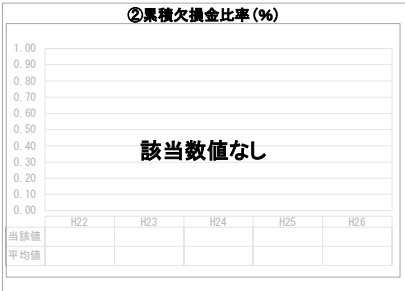
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
6,656	93.42	71.25
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,099	2.17	967.28

■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



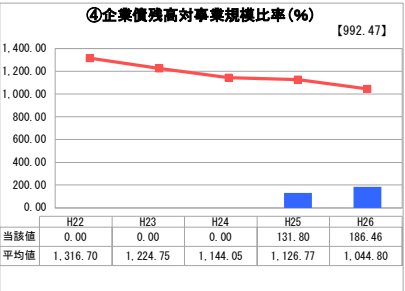
「単年度の収支」



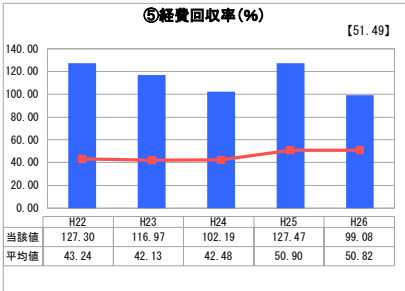
「累積欠損」



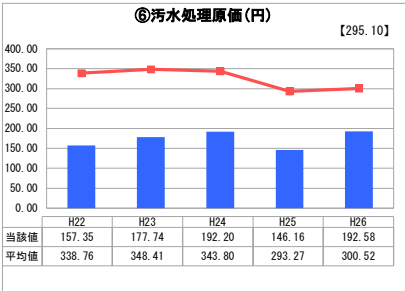
「支払能力」



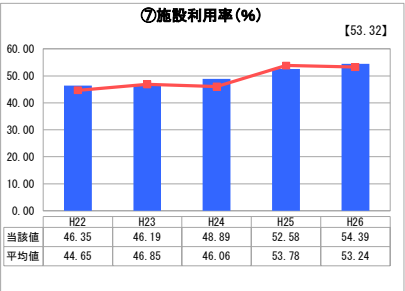
「債務残高」



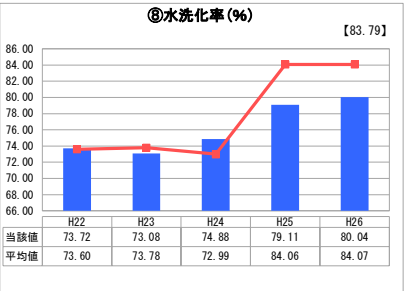
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

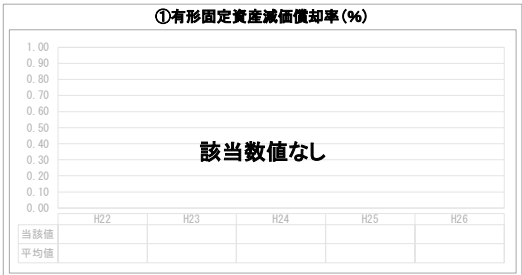


「施設の効率性」

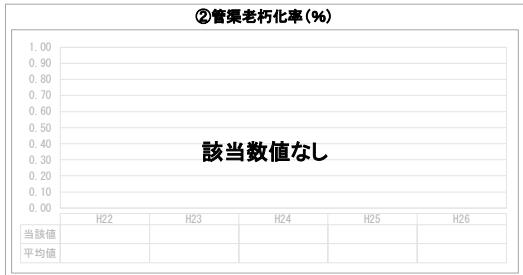


「使用料対象の捕捉」

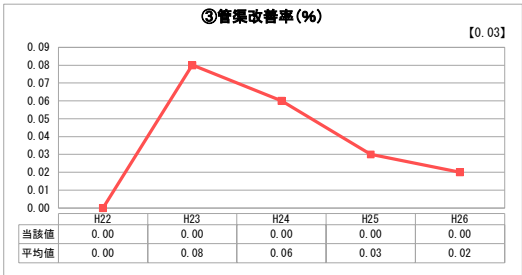
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率に関して、前年度に比べて2.67%増の100.71%となったが、一般会計からの繰入金に依存しているため、汚水処理費用削減及び使用料収入の更なる確保に取り組む必要がある。
- 企業債残高対事業規模比率に関しては、類似団体は減少傾向にもあるのにもかかわらず、本村では、使用料収入増により、一般会計の繰入金の割合が減ったため前年度と比べ54.66%増となっている。類似団体と比べて企業債残高も少額であり、現段階では適正であると思われる。
- 経費回収率については、前年度と比べて、28.39%減の99.08%となったが、一般会計の繰入金の割合が減ったことが原因である。また、経費回収が100%を下回っていることから、更なる適切な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。
- 汚水処理原価については、前年度と比べ46.42円増の192.58円となったが、有収水量も多く、類似団体と比べて金額が低く効率的な汚水処理が実施されていると思われる。
- 施設利用率については、前年度と比べ1.81%増の54.39%となったが、類似団体の平均の値であり、今後未加入世帯が加入することも考慮すると現段階では適正と考えられる。
- 水洗化率については、前年度と比べ0.93%増の80.04%となったが、類似団体と比べて低く、水洗化率向上のため加入促進を積極的に進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠の耐用年数を超えているものがないため、現在は管渠の更新をしていない。今後、老朽化に伴い財源の確保や長寿命化に取り組む必要がある。

全体総括

事業運営にあたり一般会計の繰入金に依存している傾向にある。そのため、更なる汚水処理費の削減、適正な使用料収入の確保と接続率の向上が必要となっている。

また、今後の施設等の老朽化に伴い、固定資産台帳の整備や長寿命化計画の策定を行い、更新費用の平準化を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。